

委員からの意見の概要

- 新たな基本方針が現場で実施され、目標達成されるためには、定期的な状況確認を行う必要。
- 輸出拡大のためには、生産基盤の強化のほか、市場や出荷団体、流通業界等への働きかけといった輸出面への支援も進めていく必要。
- ぶどう栽培においては、特にスマート農業化が必要であり、新規就農者の定着のためにも重要。スマート農業技術の開発は、現場主導で行うことや公的な支援が必要。
- 儲かる果樹農業を実現するためには、集出荷体制の見直しも重要。
- 生産基盤強化の推進とあわせて、生産の維持拡大のための短期的な課題にも取り組んで行く必要。果実供給量が縮小している中でも、一時的な価格低落や高騰は起こりうるため、市場での需給調整が必要であるが、産地間の連携には行政のイニシアティブも必要。